

マイク・マリガンはメアリ・アソという、じまんのスチームショベルを持っていました。新式のショベルに、仕事をとられるようになりまして。マイクは田舎へ行き、市役所の地下室を一日でぼろと約束しますか…。

『マイク・マリガンとスチームショベル』
マージニア・リバー・パートン作
電話館出版



さあ、お仕事だ！

『ハンター<と』
松岡 享子//訳 字研
ペパリス=クリアラー//作
(シリーズあり)



12歳の少年が手作りの歯みがき粉を売りたい。億万長者になりました。天才的アイデア少年ルーファスの、お金のしくみもわかる、楽しい成功物語。

『きつねもかたり』
ヨセフ・ラタ//作
内田 莉沙子//訳
福音館書店



『歯みがきくって億万長者』
シン・メル//作
岡本 さゆり//訳
信成社



『本屋さんのルビネ』
野中 稔//作
理論社
(シリーズあり)



『シュウアル - 夢の宮殿をたてた郵便配達夫 -』
岡谷 公二//文 山根 秀信//絵 福音館書店



シュウアルは空想することが大好きな郵便屋さんです。ある日、道で石につまずいたシュウアルは33年かけてたつたひとりで夢の宮殿をたてたシュウアルとは、どんな人だったのでしょうか。

『建具職人の千太郎』
岩崎 京子//作
ちん出版



江戸時代。七歳で建具屋に奉公に出された千太郎。しかし、建具職人になろうなんてさらさらない様子。しかし、姉や仲間にはまされ、千太郎は次第に仕事と向き合っていきます。

『いたずらのすきなけんちん』
安藤 忠雄//原作
はた こうろう//絵
小学館



まわりに何と言われようとも、石が好きで、ついに博物館の館長にまでなった、作者のお父さんのお話。好きなことが仕事になるなんて、とてもすてきなことですね。

『時計くらのすきなけんちん』
エドワード・フォーティゾニニ//作
こぐま社



好きなことが...

『あたまたつまった石ころか』
キャロル・オーチアス・ハースト//文
ジェームズ・スティーブソソソ//絵
光村教育図書



(キリトリ線) 点線に沿って二つに折り、切り込みを入れてから線の位置で折りたたむと小さい冊子になります

『おじいさんのランプ』
新美 南吉//作
小峰書店



『いっぼんの鉛筆のむこうに』
谷川 俊太郎//文
坂井 信彦//ほか写真
堀内 誠一//絵
福音館書店



みんなが使っている鉛筆は、鉱山から黒鉛をとる人、木を切る人などたくさんの方の手によって作られているのです。

読んだ本の☆をぬってみよう!
いくつぬれたかな? コ
2021.12 発行

~テーマ別ブックリスト~ お仕事・ずかん 【3・4年生】

『夢をそだてる みんなの仕事 300』
講談社



『トチノキ村の雑貨屋さん』
茂市 久美子//作
あすなろ書房



豊岡市立図書館

『水族館 - いきものとひとのいちにち -』
ほりかわ あやこ//さく 福音館書店



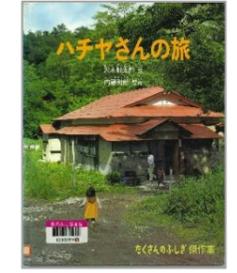
水族館ってどんなところ? じっさいに水族館で働いていた作者が水族館の仕事のひみつをしょうかします。

『トラブル旅行社(トラベル) - 砂漠のフルーツ狩りツアー -』
廣嶋 玲子//文
金の星社



あれこれ・お仕事

『ハチヤさんの旅』
沢木 耕太郎//文
内藤 利朗//写真
福音館書店



ハチミツをとるためにミツバチをかつているハチヤさんは、いろいろな種類のミツを出す花を求めて日本中旅をして回ります。ハチヤさんの一年間を追いかけた絵本。

『博物館の一日』
いわた 慎二郎//作・絵
講談社



菜の子先生に会えるのは運のいいやつだけ。それってどんな先生? 研人は春休みに転入先である小学校に見学に出かけました。するとさくらが満開の中、さくらに向かってさけんでいるふしぎな先生と出会いました。それが菜の子先生でした。



『菜の子先生がやってきた!』
富安 陽子//作
福音館書店 (シリーズあり)